

## 【めむろ未来ミーティング日程8】

令和7年1月10日(金)

15:00～16:05

■参加者 5人

■芽室町 町長、副町長、教育長  
農林課長、環境土木課長、環境土木課参事、  
魅力創造課参事、政策推進課長

■記録 広報広聴係

### ■対応・検討が必要な事項

①使われていない高速無線LANの鉄柱はどうなるのか(政策推進課)

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項  
資料1 ゼロカーボン  
資料2 新嵐山スカイパークグラウンドデザイン
- 4 意見交換

【参加者】

資料2 ページにある最終的なCO2削減目標について、達成すると国から交付金が受け取れるのか。それがあって、この目標を設定しているのか。

【町長】

成果や結果によって町が何かをもらえることはないが、目標を達成するために起こす行動に対して補助や支援が受けられる。世界的にSDGsに取り組み、地球温暖化を止める考え方になっているので、地域として貢献できたことが成果になると思う。お金の面でメリットはないが、自治体全体でやっていこうという思いがある。個人で省エネ対策をするにしても、目に見えないところがあって、啓発するのも難しいが、例えばエアコンを買い替える、あるいは蓄電池を設置するなど、

そういうときに町で補助を出して、その補助に対して国から支援のお金が入るような流れになる。なので、皆さんに大きいメリットというのは、家電を買い替えるタイミングで補助を使ってもらうことになる。

【参加者】

省エネ対策で、省エネ性の高い給湯器やLEDが10年ぐらい前から出始めていて、それくらいの時期から設置している。それを買い替えることになった場合も補助の対象になるのか。

【町長】

更新でも構わない。令和7年度以降から取り組んでいくが、具体的にいつ何をするかということについてはこれから整理が必要。予定される件数でお金を積み重ねなければならないし、あるいは補助率もどれぐらいにするかも考えていかなければならない。いずれにしても町として支援したいと思っている。

【参加者】

車は国の補助になるのか。

【町長】

グリーン化特例でハイブリッド車などを購入すると税金が安くなる取り組みもある。

【参加者】

町としてそういった車を公用車にする計画はあるのか。

【町長】

更新の際は考えていきたい。鹿追町は水素自動車を入れているが、何にするかは考えていきたい。

【副町長】

EVもいいが、冬の走行距離やエンジンルームが暖まらないことで凍ってハンドルが回らないなど、北海道ならではの問題がある。現実的にはPHEVプラグインハイブリッドがベストだと考えている。

【参加者】

各施設や学校で太陽光を使っている。その太陽光パネル自体が、窓ガラスにつけるものや垂直に立てられるものなど、増えてきている。新嵐山にもつける計算か。

【町長】

太陽光だけが再エネではないが、役場から公立芽室病院までにある公共施設群の電気を再生エネルギーにできないかを調査している。問題は何を原料にするかだが、糞尿を市街地に持ってきてバイオマス発電するわけにはいかない。例えば給食や農協のフーズの残査を使ってできないかなど、どういう物を原料にしてエネルギーに変えていくかを研究している状況。町としてはできるだけ公共施設がトップランナーとして動いていきたいと思っている。それが2ページに書いてある①や②のところ。役所が本気になって動いている姿を見せないと、なかなか個人の皆さんにも言えないので、いろいろな工夫をしながら考えているところ。

【参加者】

アメリカの大統領が代わって潮流も変わると思う。日本はそれに乗るかわからないが、トヨタは全てを電気自動車にはしないようで、多様性を持っている。CO2だけに目を向けると日本は取り残される心配がある。柔軟性をもってほしい。

【町長】

確かにすごく暑くなっている。気候変動があるのは分かっている。このままにしたら、子どもや孫の世代になった時にどうなるかを考えたときに、今からできることとしていきたい。なかなか孫の世代まで見えていない部分もあるので、成果としてどうなるかは非常に難しい。ただ、今本当に取り組んでいかなければ、取り返しつかないことになるというのが、行政としての考えなので、進めていきたいと思っている。芽室町だけ行動を起こせば効果があるというものでもない。みんなで取り組んでいかなければならないと思っている。

【参加者】

新嵐山再生の話が理事会のときに聞かせてもらった。その時はよく場所を把握しておらず、質問ができなかった。遠軽町の道の駅や北湯沢にジップラインがある。道南と道北にあるので、道東にもあっていいと思う。場所的に厳しいかもしれないが、遠軽町に一度見に行った時、土日ということもあって人が入っていた。ジップラインも予約で埋まっていて、たくさんの方が使っていた。

【町長】

新嵐山の再生を考えたときに、これだけ雪が少なくなってきた、スキー場として5年後、10年後も同じようにスキーができるのかという話。今回のオープンもほとんど降雪機で雪をつくってできたもの。雪が多いときは黒字になるし、少ないと赤字になる。これを数年で儲けられるようにしなければならない。なので、夏に稼げるような施設にしていかなければならないという考え。そこで、屋内遊戯施設を拠点として、ファミリー層を通年で呼び込みたいという発想がある。それに冬だったらスキーもできるし、夏だったらキャンプもできる。それと遊戯施設だけではなく、食の部分でもレストラン機能は置きたいと思っている。それらで稼いでいくベースがあって、年間で採算が取れるようなイメージがないと、これから生き残っていけないという考え。夏に稼ぐとしたら、資料に載っていないが、リフトのかけ替えがポイントになる。スキー以外に活用するようになったときにどう考えるのかといえば、遠軽町では夏スキーをしているし、新嵐山の展望台も活用したい。例えば、夏にリフトを活用して上からサイクルで降りてくるなど、そういった工夫ができて、採算がとれるようにならないと、なかなかリフトのかけ替えに踏み込めない。5年ほど前に試算をしたら、2本ともかけ替えた場合8億円かかると言われていて、今だと物価が上がっているので、おそらく1.5倍ぐらいの12億ぐらいになると思う。なので、2本ともかけ替えるということは現実的でない。だとすれば、ルートを変えてでも1本で頂上までいけることができたという考えがある。今の新嵐山のレベルでは、スキーで採算をとるのは難しい。サホロやトナム、富良野市など、あのレベルになれば話は別。十勝管内には忠類や新得町にあるが、おそらく

採算をとるのは難しいだろうと思っている。少し戻るが、今ご提案のあった夏の機能も合わせてトータル的に整備しようとしたとき、リフトをどうするかという考え方になると思っている。確かに頂上は魅力的なので、これを生かさない手はないし、ジップラインも面白いと思う。あと、今は林道で上がっているが、あれは農林課所管の林の管理道で、観光用の道路ではない。昔、試算してみたら整備に3億円ぐらいかかる。その3億円を道路にかけるのであれば、リフトにかけた方が良いのではないかなどと検討している。これから長超寿命化計画や基本計画を立てていく。その計画ができる皆さんもご心配の金額がいろいろ出てくるので、それでやるかどうかを決めていく流れになる。

【参加者】

トマムは夏冬とジップラインをしているようだ。そういうのも良いのでは。

【町長】

ジップラインは面白いと思う。リフトもそうだが、下にネットを張らなければならないため、経費もかかると思うが、手掛けたら採算がとれる可能性はある。人気が出るかもしれない。先ほども祥栄会場で、長野県白馬村の事例を聞いてきた。行列ができるそうだ。料金も高いが普通に乘っているとのことなので、面白いかもしれない。

【参加者】

ジップラインもいい値段していたと思う。4000円から5000円。グラススキーをしていた人もいた。ただ、安全上のためスタッフもたくさんいた。人がたくさん必要になるので、土日限定でもいいかも。

【町長】

面白いかも。

【参加者】

中学生の子どもがいるが、スキー場が使えなくなって、スキー学習もなくなってしまった。復活はあるのか。

【教育長】

学校が判断している。西中はスキー場が閉鎖になってしまったのでゲートポールをしている。それが好評で、そちらに移行するような話もある。西小はスキーが復活すると思う。

【参加者】

スケートリンクもない。年明け3日の夜中にマイナス18度くらいになったので、その時に初まきした。ここ最近ずっとマイナス10度まで下がるか下がらないかぐらいで、今日も昼に子どもを学校まで送っていった時、土が出ていた。始業式までには間に合わないし、雪が降らないので、せっかく芽室町民なのにスケートもスキーもできないというのはさみしい。町として何か対策はあるのか。

【町長】

これだけ雪がないと確かにつらい。

【教育長】

スキーもスケートも種目自体は学校の裁量。スキー場がまたオープンするので、いろいろ考えていると思うが、いずれにしてもこの温暖化で厳しい状況であるのは確か。頭をひねって考えて、西中はゲートポールをしている。スキーに行っても、行き来で時間がかかって、実際に滑る時間が限られてくるので、そういう面からも効率的に何をしようかを考えている。例えば町営リンクを使うためにバスを出すことも可能だと思う。また、去年はメモロスキー場が使えず、白銀台スキー場に行った学校もある。学校のニーズを聞きながら、極力応えられるようにしたい。

【参加者】

遠軽町では、木の上に綱を張って、そこを渡っていくようなものもあった。新嵐山にあってもいいと思う。

【町長】

遠軽町も近々に見に行きたい。

## 【参加者】

パークPFIについて、将来は明るいか。

## 【町長】

いろいろ絡みがあって長くなるかもしれないが、まず新嵐山が倒産してスキー場を今後どう再生するかとなったときに、たまたまその前に協定を結んでいたモンベルと話ができて、スキー場を運営してくれるところを紹介してもらえないかを尋ねたところ、デザインを描いてもらえることになった。町としてはパークPFIでやろうとしているモンベルショップを新嵐山に作ってもらいたいと思っていたが、モンベルが何回か町に来て町内を回った時に、芽室公園の立地が目にとまった。あそこは、高速道路のインターチェンジからまっすぐで、国道とも重なっているので、非常に集客が見込める。この場所であればという話になった。昔は、公園の中で商売をすることができなかったが、平成29年の法改正で、パークPFIという、都市公園の中であれば商売をしても良いことになった。その代わり儲けたお金の一部は公園の整備に当てなければならないという仕組みになっている。その法改正とモンベルショップの位置を探していた時がうまく合致したため、芽室公園にショップあるいは商業施設などの提案をもらう今の状況がある。PFIという言葉が<プライベート・ファイナンス・イニシアチブ>といい、要するに民間資本をその公園に投入する仕組みになっている。町は土地を貸して、維持管理費用を払わなければならないという仕組み。なので、初期投資として町がお金を払うことにはならないという意味で、メリットのある制度である。それを町として使いたいと思っていて、そのためにはモンベルが直接自社で店を建てるのではなく、デベロッパーがいて、その方々がモンベルショップも含め、公園でやりたいことを町に提案する仕組みになっている。承認が下りたら、民間でいろいろなお店を建てていって、そのうちの一つがモンベルショップという条件になっている。今はその前段階で、芽室公園の中で採算がとれるかどうかの市場調査まで進んでいるところ。市場調査を希望するところはずでに複数来ていただいている。その調査後に今度は実際に出店してくれるところに公募で手を挙げてもらって、手が挙げれば資本を

投入して、モンベルショップを建てたり、他の商業施設などを建てたりする流れになる。長くなったが、質問に答えると、前向きだと思うし、モンベルショップに関しては近いうちに芽室町に進出することを約束できればと思っている。道内には、小清水町や東川町、南富良野町にモンベルショップがあって、留萌市が建築中。道東にはないのでチャンス。南富良野町のショップに札幌ナンバーがすごくあって、集客力もある。道東に何店舗も建つとは思えず、チャンスとしては今回しかないと思っている。他の町に取られてしまうと芽室町での話もなくなってしまうと思う。道東の商圈を取りたいと思っている。

## 【参加者】

芽室町にも商店がある。公園に入りたいと言われたらどうなるのか。

## 【町長】

それは、デベロッパーの考え方による。町として要望はしたいと思っているが、全国的に資本のあるところが入る可能性がある。全国チェーンの飲食店が入るような可能性もあると思う。ただ、一部に町の商店が入ることはあるかもしれない。町からあまり強引に言えないというのが実態。商店の方々には説明すると、中にはお客さんが取られると言う人もいる。ただ、国道まで人が来るのだから、あとは町と一緒に、まちなかに人を引っ張ってくる方策や知恵を出し合いたいと考えている。もう少し時間があるので、計画段階でしっかり話をしていきたい。公園の整備の方は、どちらかというともちなか再生に近い課題として捉えている。

## 【参加者】

7ページに、民間事業者には都市公園法の特例措置が適用されると書いてある。事業者にとってメリットだと思う。どの程度のメリットが事業者にあるかは分からないが、突然撤退されるということがないように考えてやってほしい。

## 【町長】

条件としてつけているのは、モンベルショップは絶対

だと言っている。ダイイチが近いので、スーパーも禁止だと言っている。そうすると、商業施設としてあまり大きくないカフェなどの飲食系がメインになる感じはしている。競合して町の人たちが困るようなことはしないようにする。

【参加者】

モンベルやデベロッパーが引っ張ってきやすいお店もあると思う。それが大手ファストフードのチェーン店であればうれしい。

【町長】

感覚としてはそちらに近い。あまりお店の名前を言って期待されても困るので言えないが、そういう全国チェーンが入る余地はあると思う。あとは商圈として成り立つかどうか。商店会の皆さんと競合するとは思っていないが、それでも黒船のように来て調子が悪かったらすぐ去っていくようなイメージはあるのだと思う。そこは公も絡んでいるので、信用が置けるようにしていきたいと思っている。

【参加者】

区長が町に何度かAEDの使い方講習を要求している。

【町長】

消防の救命講習に入っているので、消防に話をしてみる。区長や農事組合長から申請してもらえたら、消防職員が説明する。

【参加者】

旧毛根小学校のところが工事している。私たちの持ちものではないので何も言えないが、いきなり堆積物が出てきて、何をしているのか分からない。春先は板を敷いていなくて、雨水で泥が流れて汚かったこともある。最低でも区長に説明してほしい。

【環境土木課長】

北海道で東瓜幕芽室線の防雪柵の工事をしていて、掘った土を置いているのだと思う。

【参加者】

看板も車が見えづらい位置にある。ずらしてほしい。

【参加者】

コミセンの駐車場に車を停めていることも多い。老人クラブで来ることもあるので、そのときにあると困る。

【町長】

地域として看板や駐車場利用の要望を紙などにまとめて、区長に伝えていただくと対応しやすいと思う。

【参加者】

①オーレンスの高速無線LANの鉄柱が9線に残っている。清水町側にもあるし、芽室町側にも立っている。道路のすぐ近くでもあるので、除雪の時も邪魔ではないかと思っている。実際に芽室町で使っているものではないらしい。畑を使っている人たちは邪魔だと言っていて、どうなるのかと思っている。

【町長】

使っていないのだから撤去を含めて考えなければならない。

16時05分終了

